教育家庭新聞

2021年（令和3年）

11月1日

月曜日

第2201号

神楽月・雪待月

文化の日（11/3）
ユネスコ憲章記念日（11/4）
ノーベル賞制定の日（11/27）

第1月曜日発行

教育マルチメディア号

教育家庭新聞社
発行所＝〒111-0053東京都台東区浅草橋3-1-8
TEL：03（3864）8241㈹
FAX：03（3864）8245
郵便振替口座　1309ー53693

購読申込み　☎03（3864）8241 Eメール kks@kknews.co.jp
ホームページ　https://www.kknews.co.jp/

創刊 昭和36年7月 ©教育家庭新聞社　1部 480円

紙面案内

「深い学び」を支える 1人1台端末活用を

1人1台端末活用と共に新学習指導要領の円滑な実施が求められている。そのために不足する事項を1つひとつ解決していかなければならない。ネットワークの再整備、学習者用デジタル教科書・教材の活用や情報活用能力の育成はすべて「子供主体の学び」を再構築することから始まる

2面　第47回ＪＡＥＴ大会

第47回全日本教育工学研究協議会全国大会（大阪大会）は、全面オンラインで開催。初の試みとして、すべての公開授業をオンラインで視聴することができる

4・5面　学習者用デジタル教科書・教材

学習者用デジタル教科書・教材の実証事業と共に各教育委員会でも独自整備による検証が始まっている。各教科でどのような活用が始まっているのか。４校の活用を取材した

6・7面　学校経営と1人1台端末活用

教員用端末・児童生徒用端末から印刷ができるようにした事例、１人１台端末活用を基盤に探究型カリキュラムを全校で策定するなど、１人１台端末活用に伴い、学校経営全体も変わりつつある

8面　教育委員会対象セミナー札幌

札幌で開催した教育委員会対象セミナー「ＧＩＧＡスクール構想　ＩＣＴ機器の整備・活用」の講演内容を報告

■Twitter
@kyoikukatei
■紙面問合せ
✉kks@kknews.co.jp
■購読申込みはこちら→

全教員が特別支援の基礎を理解

特別支援学校の教職課程コアカリキュラムを策定

文部科学省は10月25日、第1回「特別支援教育を担う教師の養成の在り方等に関する検討会議」（加治佐哲也座長・兵庫教育大学長）を開催した。2021年1月にとりまとめられた「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議」の報告では、全ての教員に特別支援教育に関する基礎的な知識、合理的配慮に対する理解等を求めている。また、特別支援学級・通級による指導を担当する教員には自立活動や発達障害等に関する専門性や実践力を身に付けること、特別支援学校の教員には障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を十分把握して各教科等や自立活動の指導等に反映できる幅広い知識・技能等が求められている。

ASDの理解は必須

多様な教育的ニーズを前提とした学級経営が求められており、通級指導の場合は個別計画の編成が求められるなど、特別支援教育に関して求められる事柄は多い。特別支援学校の教員免許状の保有率は全体で84・9％と向上しているものの、視覚障害教育は66・1％、聴覚障害教育は59・6％と低く、取得できる大学も限られている。現状、特別支援教育の免許状取得は猶予されているが、今後の方向性を明確にする。通級指導の推奨によりほぼすべての学校に特別支援学級があるにもかかわらず、特別支援の経験がない管理職のみが配置されている場合もあり、管理職選考や登用に当たり特別支援教育に係る経験（特別支援学校、特別支援学級、通級による指導、特別支援教育コーディネーター等）の考慮が推奨される方向だ。委員からは「大学での学びが実際の特別支援教育と乖離しており、教育課程について理解不足の学生が多い。障害が複数ある児童生徒は多く、すべての障害を理解する必要があり、自立活動は特に重要であるが分野が幅広い。これを教員養成課程でどこまで担保できるのか懸念」「ASD（自閉スペクトラム症）について学ぶ機会は少ないが今後は必須」「自立活動の指導と障害それぞれの専門性獲得の両立は難しい。教員を目指す学生はなんらかの形で理念や一般的な理解は必要」「各障害一領域で対応できる状況ではなくなっており研修の充実が大学として求められている。通級や特別支援学校の教員を対象に、教員養成大学等で必要な単位を取得する仕組みを導入してはどうか」などの問題点が指摘された。コアカリキュラムの内容の精選が今後の課題だ。

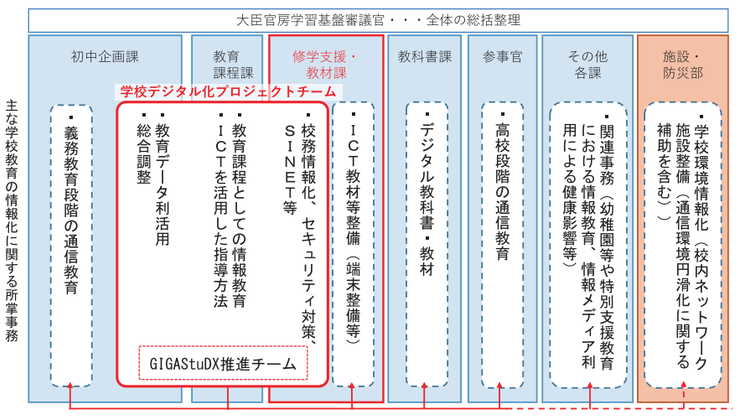
文科省が組織改編

学校教育の情報化をさらに推進

文部科学省は10月1日、組織を改編。局内のあらゆる課等において1人1台情報端末等活用を前提とした施策・業務を推進するため、情報教育・外国語教育課を発展的に解消。修学支援・教材課を設置して端末整備と修学支援を始めとした学校教材の整備を一体的に推進する。

局内全体の司令塔として学校デジタル化プロジェクトチームを設置。総合教育政策局教育ＤＸ推進室とも連携しながら、学校教育の情報化（教育データ利活用、教育課程としての情報教育、ＩＣＴを活用した指導、校務情報化、セキュリティ対策、ＳＩＮＥＴ等）を推進する。総合教育政策局教育ＤＸ推進室は教育分野全般のＤＸや教育データ標準化、ＭＥＣＣＢＴ、学習ｅポータル等を担当している。

組織改編及び改編後の学校教育の情報化の推進体制



●局内のあらゆる課等において一人一台端末等の情報環境を前提とした業務を推進するため、情報教育・外国語教育課を発展的に解消。
●修学支援に関する業務と端末整備をはじめとした学校教材の整備を一体的に推進する修学支援・教材課を新設。
●学校教育の情報化に係る局内全体の司令塔としてプロジェクトチームを設置。
※学校デジタル化プロジェクトチームを中心として、総合教育政策局教育ＤＸ推進室（担当：教育分野全般のＤＸ、教育データ標準、ＭＥＸＣＢＴ、学習ｅポータル等）とも連携しながら推進

（文科省10月1日公表資料より）

デジタル部活を活性化

経産省が検討

経済産業省は10月5日、第1回「デジタル関連部活支援の在り方に関する検討会を開催。座長は鹿野利春教授（京都精華大学メディア表現学部）。2050年時点の生産年齢人口は2021年現在、高校生以下が約3分の2を占めることから、中学・高校など学校内でデジタル技術に高い関心・能力を有する子供達が活動するデジタル関連部活を支援することが重要であると考え、「デジタル関連の部活動（以下「デジタル関連部活」）において体系的・効果的にデジタル人材を育成する仕組みについて検討する。デジタル関連の部活とは「情報研究」「プログラミング」「アプリ開発」「ロボット」「アートサイエンス」「eスポーツ」等に取り組む、パソコン部やプログラミング部、ロボット部等。

トップクラスのエンジニアは、小学校高学年から中学生頃にプログラミングを始めた人が多い。また、プログラミングを始めたきっかけの3分の1が、中高のパソコン部や大学の講義だ（Preferred Network 社内アンケート調査）。

現在、パソコン部を設置しているのは、中学校13・8％、高等学校33・1％（平成29年度運動部活動等に関する実態調査報告書）で、中学校約1400校、高等学校約1613校にパソコン部がある試算だ。また、高等専門学校（国立51校、公立3校、私立3校）にはデジタル分野の課外活動が多く、各種コンテストに積極的に参加している。

一方でデジタル関連部活には、高体連や高文連等にあたる存在がない。そこで本検討会では、産業界を中心に、デジタル関連部活のニーズを踏まえた支援（指導・助言、活動に使う機材・教材等の提供等）を実施し、活動範囲を拡充させ、生徒のデジタルスキル向上等を図ることを考えている。野球に「甲子園」があるように全国大会をデジタル関連部活にも根付かせ、アウトプットする機会の充実を図り、デジタルスキル全体を底上げ。デジタル人材不足の解決に取り組む。

全国大会開催で盛り上げ図る

委員からは、デジタル関連部活の高文連参加のための仕組みつくりが提案された。

また、多様な才の集まりとなり得るデジタル関連部活にふさわしい指導者確保のためには産学連携や地域人材の確保が不可欠であり、そのための社会的な仕組み作りが必須であるという意見も出た。

12月に中間まとめ　3月に提言まとめ

本検討会では以後、各WGを設置して下記4事項について討議する。▼若年層のデジタル人材育成分野においてデジタル関連部活の支援は、どのような役割を果たすか▼デジタル関連部活を産業界が中心となって持続的に支援するためにどのような仕組み等が必要か▼デジタル関連部活に所属する生徒のモチベーションを維持・向上するために有効な目標の在り方（大会・コンテスト）▼デジタル関連部活のジェンダーバランス確保のための仕組み等

デジタル関連部活へのヒアリング・アンケートも行い、中間とりまとめ案は12月に、提言（最終案）は3月にまとめる。

高校生用情報端末や教員授業用端末配備等を提言

経団連

一社・日本経済団体連合会は10月15日、GIGAスクール構想の確実な実施に向けた緊急提言を公表。小中学校に1人1台の情報端末整備がほぼ完了したことは前進であるが本格的な活用に向けて様々な課題が明らかになりつつあるとし、緊急性の高い施策と考える次の4つを提言した。

▼高校生1人1台教育用端末の整備

1人1台端末の活用を経た小中学生が高等学校でも1人1台端末を活用できるようにすることを提言。実現の手段としてBYODや地方創生臨時交付金の活用、GIGAスクール補助金の拡充等を挙げ、スマートフォンでは画面の大きさやプログラミング学習等必要な学習を網羅できない点にも触れた。

▼教員用端末の整備

教員の授業用端末の未整備が各地で課題として挙がっている。各教室に1台はあるものの全教員配備に至っていない場合もある。緊急事態であっても学びを止めない手段としてオンライン授業の実施が一般的になっている今、ある程度の性能を持つ教員用端末は1人1台に必須であり、さらに予備機や支援機器が必要であると指摘した。

▼インターネット接続環境の整備

適切なインターネット環境を整備するため、国の財政措置により小学校から高校まで全ての学校でネットワーク環境のアセスメントを早急に実施し、その結果をもとにした環境整備を求めた。

▼ソフトウエア・コンテンツの充実

生徒と教員が質の良いアプリやコンテンツの操作性や効果を実感するため、全国の都道府県・市町村における活用実績・効果を得るための試験的導入予算を拡充すべきであるとした。

例として経済産業省のEdTech導入補助金を挙げた。

ICT授業を支える
「快適無線」

3RF対応 無線LANアクセスポイント
ACERA 1210
3台の無線機を搭載
FURUNO SYSTEMS

連載　GIGA端末を活かす！　教員研修～授業活用

⑤1人1台端末活用は校長のリーダーシップがカギ　福岡市立百道浜小学校

中村学園大学 教育学部　山本朋弘 教授

福岡市立百道浜小学校（酒井美佐緒校長）は、昨年度11月末までに福岡市内に1人1台の情報端末環境が整備されてから、児童の能動的な学びに着目した1人1台の情報端末の活用を進めている。特に、酒井校長のリーダーシップによって、教職員が一丸となって取り組み、学校全体での活用が確実に進んでいる。教師も児童も授業や授業以外の場面でも日常的に活用しているが、なかでも校長自らの活用はとても興味深い。

酒井校長は、クラウドサービスを用いて、児童全員に直接アンケートを答えてもらうようにした。例えば、導入当初は、情報端末でどんなことができそうかを回答させた。年度末の振り返りでは、1年間、挨拶がきちんとできていたかを回答させた。今年の夏には、情報端末を持ち帰ってやってみたいこと、児童自身が考える使い方のルールを聞いた。

クラウドサービスで全児童から意見収集

酒井校長が出したアンケートの問いに対して、子供たちは発想豊かに答えてくれたようだ。

子供たちは端末の持ち帰りについて、「家庭でタイピングを練習したい」、「家庭科で学習した調理を家庭で実践し、記録を作成したい」などをWebアンケートで回答した。

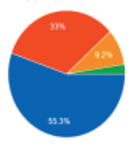
これらのアンケートの結果は集計してグラフ化されて、毎月1回実施される全校集会において、酒井校長がプレゼンテーションで報告する。集会は、当然オンラインで実施される。校長自らが情報端末を積極的に活用する姿から、子供も担任教師も積極的な活用に向かうだけでなく、教頭や担任教師の事務負担が大きく減ることにもつながっている。

このような校長のリーダーシップが、これからの1人1台の端末環境を活かしていく上のカギになることは間違いない。

オンライン全校朝会でアンケート結果を発表する酒井美佐緒校長。子供たちは校長の質問（下）に情報端末で回答

2がっきの「あいさつ名人」のがんばりをおしえてください。

412件の回答

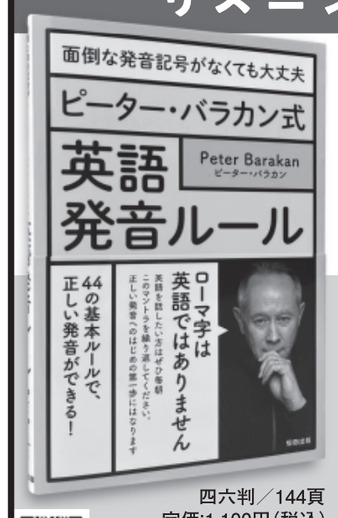


「教育家庭新聞 教育マルチメディア号」購読申し込み書

「教育家庭新聞教育マルチメディア号」は毎月第1週に発行します。メール便でお届けします。電話・ＦＡＸ、またはＨＰからもお申し込みいただけます。
購読者には、新聞紙に加えて、読者専用Webページにアクセスできるidとパスワードをお届けします。
1. 電話 03・3864・8241（弊社販売部）　2. FAX 03・3864・8245
3. ホームページアドレス https://www.kknews.co.jp/　（1部 480円）

お申し込み書（年間12回5760円）		
お名前		
ご職業		
ご住所	〔自宅・通勤先〕（どちらかに○を）　（〒　－　）	
連絡先	電話　（　　） FAX　（　　）	お支払方法 ご連絡を頂き次第、郵便振替及び銀行振込の用紙をお送りします。どちらかでお支払いください。

リスニング力アップにも大活躍!!



面倒な発音記号がなくても大丈夫
ピーター・バラカン式英語発音ルール　ピーター・バラカン

44の基本ルールを覚えれば、誰でも正しい発音ができる！

英語へのアプローチを変えるだけでコミュニケイションが楽になる！

発音記号を使わない英語発音本の名著『猿はマンキ　お金はマニ』（NHK出版）を大改訂。目からウロコの英語発音のルールを、来日して47年になるバラカンさんが面白く、かつわかりやすく解説！

四六判／144頁
定価:1,100円（税込）

駒草出版 株式会社ダンク 出版事業部　〒110-0016 東京都台東区台東1-7-1 邦洋秋葉原ビル2F　Tel.03-3834-9087　Fax.03-3834-4508　https://www.komakusa-pub.jp/　※書店様にてご注文いただけます。

受け継がれる、日本人のこころを学ぶ

なまめかし　加藤 要
奈良・平安の文学と日本のこころ
『万葉集』『古今和歌集』から、計100首以上の和歌を解説
古の文学の世界を、私見を交えず優しく紹介！『竹取物語』や『伊勢物語』、『土佐日記』『更級日記』などを引き、奈良・平安時代の人々のこころに触れる。

四六判／232頁
定価:1,870円（税込）

最新刊！
異界神社　ニッポンの奥宮　本田不二雄
神の記憶を呼び覚ます 奇跡の神域へ
古い由緒をもつ神社のなかには、そこに至る以前の根源を記憶し、大切に保たれた特別の場所がある。「神々のおわす場所」への旅が始まる！

A5変形判／214頁
定価:1,980円（税込）

みんなのシビックプライド　米山淳一
歴史的遺産の保全に邁進してきた人々の、ドキュメンタリー
魅力あふれる歴史的な集落や町並み。それらは「残った」のではない。人々の熱い想いによって残されたのである。

四六判／288頁
定価:3,080円（税込）